

中間評価結果（平成19、20年度採択）

番号	研究課題名	研究代表者	評価
19-3	各種道路橋床版における疲労損傷の非破壊検査システムに関する研究開発	大阪大学大学院 教授 鎌田 敏郎	B
<p>< 研究の概要 > 道路橋に使用される主な3種類の床版（鋼床版、鉄筋コンクリート（RC）床版、鋼・コンクリート合成床版）に発生する疲労損傷の中で、現場での目視確認が困難な為に大きな問題となっている損傷を対象とし、高精度で検査効率の高い非破壊検査システムを構築することを目的とした技術の開発と実用化を目指す。</p> <p>< 研究継続の妥当性評価 > 概ね順調に進んでいる。なお、コンクリート床版については今後出来るだけ早い段階で実橋レベルでの実用化の検証を行い、その結果を反映して開発目標とした実用システムの構築に結びつける必要がある。</p> <p>< 特記事項（今後の研究に対する意見・指摘事項等） ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 非破壊検査の基礎技術を実際の構造物の維持管理に活用できる研究開発としての成果が期待される。解析技術としての弾性波トモグラフィーについてもこの分野をより広げる成果が期待される。 ・ 合成床版を今後1年でとりまとめることは困難なことから、鋼、コンクリートの床版に絞った検討とする必要がある。 			